



平成 27 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 **ブルボン**
 代表者名 代表取締役社長
 吉田 康
 (コード番号 2208 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役 財務管理部長
 山崎 幸治
 (TEL. 0257-23-2333)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想 と実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 1 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)の業績予想と本日公表の実績値との差異に関し下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	48,000	350	400	200	8 円 24 銭
今回実績値 (B)	49,618	753	704	442	18 円 22 銭
増減額 (B-A)	1,618	403	304	242	
増減率 (%)	3.4	115.1	76.0	121.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	46,983	490	617	310	12 円 79 銭

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、天候要因に恵まれたことや品揃えを強化したパーティタイプの半生商品や新しい味の展開を行ったグミ商品、新カテゴリーのポップコーン商品が好調に推移したことから、売上高は前回の予想を上回りました。

利益につきましては、生産工場の再構築に伴い、減損損失および一部の移設関連損失を計上しましたが、売上高の伸長と継続した生産性の向上、コスト削減、経費の効果的使用に取り組むとともに、投資有価証券の売却益を計上したことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回の予想を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、新興国経済の減速から、輸出の弱さや消費低迷による景気の後退局面の可能性が懸念されること、および、為替変動に伴う原材料やエネルギー価格による製造原価への影響などを踏まえ、平成 27 年 5 月 1 日公表の予想数値を据え置くことといたしました。

※上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上